



ESAT-J（YEAR3）から求められている力をよみとく

校長 伊藤 聡

現在の日本は、大きな転換期を迎えていると言われ始めて久しく、その背景にはグローバル化、デジタル革命、気候変動、少子高齢化など私たちの生活に密接な要因がお互いに絡まり合っているという状況がみえます。東京都では、これからの時代をみなさんが豊かに生きていくための方法の1つとして、世界を視野に入れた新しい時代を切り拓く人材育成を進行形で進めています。年齢、国籍、文化の違いや障害の有無などに関わらず、あらゆる人々が互いの人権を尊重し合い、共に力を合わせていく共生社会を実現するためです。

このESAT-Jは、そんな人材育成の1つの手だてとなります。多くの外国の人々と交流する機会が増えていく中で、自らすすんで積極的にコミュニケーションを図り、共生社会の一員として生活できるようになることが目標となります。分からないなら分からないなりに、正しく伝わるような英文が思いつかなくても、自分で考えた英語を、あきらめずに話す必要があります。英語を話す力以上に、まずはチャレンジして伝えようとする気持ちをもつことが大切だと感じます。

さて、問題を見てみましょう。問題はAからDの4種類になりますが、その中からCの問題に苦戦するのではないかと思います。取り上げてみました。上の①から④の全てのイラストを順番にストーリーにして英語で説明するという問題です。1つのイラストについて1つの英文で考えて見ましょう。まずは、日本語で・・・、そして英語へ、最後に相手に伝わるように話すことが求められるようです。思いついたことが英語で伝えられるでしょうか。その他の問題は、表示された英文の音読や英語の音声による説明を聞き、それにし対して自分の意見とその具体的な理由も話すなどの問題もあります。いずれにしても制限された時間の中で答える必要があります、事前の準備が欠かせないと思います。

いずれにしても日頃の授業の積み重ねが大切になります。少人数の英語の授業で、英語の先生以外にも、学力向上専門員、学習支援ボランティア、学生ボランティアそしてALTの先生などと自分から間違いながらも英語で話すことにどんどんチャレンジしてってください。また多くの外国の方が来日していますので、チャンスをみつけてトライすることも大きな自信になると思います。

